



川口市立芝樋ノ爪小学校

川口市芝樋ノ爪 2-10-48

TEL 048-266-5265

芝樋ノ爪小だより 1月号

<https://shibahinotsume.edumap.jp>

令和3年1月8日

めざす学校像「明るく元気なあいさつと笑顔があふれる、きれいで楽しい学校」

一日一善

校長 若林 茂

新年、明けましておめでとうございます。令和3年のお正月は晴天に恵まれ、保護者、地域の皆様におかれましては、穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。今年は丑年。丑年は子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求めるのではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされています。皆様方にとりまして、新たな発展へと繋がる健康で幸多い年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

昨日、新型コロナウイルスの感染が拡大している埼玉県を含む1都3県に緊急事態宣言が発令されました。本校におきましても、マスクの着用、手洗い、3密を避けるなど、これまでの感染防止対策を徹底し、特に給食や体育などマスクを外して活動する場面や、教室内の換気に留意してまいります。ご家庭におかれましても、毎日の健康観察、お子様が体調不良の場合の登校の自粛、並びに同居されているご家族が体調不良の場合の児童の登校の自粛等へのご理解とご協力をお願いいたします。なお、児童やご家族がPCR検査を受けることになったり、濃厚接触者となったりした場合は、すみやかに学校にご連絡いただくとともに、登校を控えていただくことで、学校内の感染拡大防止と休校措置をとる必要性が低くなることに繋がりますので重ねてお願いいたします。

さて、一年の計は元旦にありと言われています。今年は初日の出に、新型コロナウイルスの終息と、本校関係者の皆様のご健康とご多幸をお祈りしました。今年ほど良い年になりますようにと強く願った年はありません。皆様もお気持ちは同じではないかと思えます。同時に年末から考えていた3学期の始業式に児童に話すことが決まりました。それは、「一日一善」です。昔テレビのコマーシャルで流れていたこともあり、この言葉をご存知の方は多いと思います。一日、一つは善いことを行いましょう、ということですが、この言葉の語源は、仏教の「六度万行（ろくどまんぎょう）」にあると言われています。

「六度万行」とは、お釈迦様が善い行いを六つにまとめられたものです。その六つとは、「布施（ふせ）」「持戒（じかい）」「忍辱（にんにく）」「精進（しょうじん）」「禅定（ぜんじょう）」「智慧（ちえ）」で、今の言葉で言い換えると、「親切」「約束を守る」「忍耐」「努力」「反省」「修養」ということになります。「修養」というのは、「智慧」を言い換えた言葉ですが、六つの教えをまとめたもので、この教えを実行しなさいという意味です。お釈迦様は、このうち一つでも意識して行いなさい。そうすれば他の五つも行ったことになるかと教えていました。そして、この「一つでも善い行いをしなさい」という教えが「一日一善」の由来になったと言われています。また、お釈迦様は、人を思いやったり、優しくしたりすることは、相手を幸せにするだけでなく、自分を幸せにすることになると教えています。善いことをすると自分もよい気持ちになることは経験があります。一年の始まりにあたり、本日、校内放送での始業式で、「一日一善」について児童に話をしました。

今日から3学期が始まりました。1年間の学習の総まとめの時期です。1年間の学習がしっかりと身に付けられるように取り組んでほしいと願っています。それが、次の学年への土台となり、新しい学習の支えになってきます。特に6年生は、卒業が目前となってきます。下級生にたくさん手本を示してくれることを期待しています。児童一人一人が身に付けるべきことをしっかりと身に付け、自信と希望をもって進級・進学ができるよう、教職員一丸となって指導してまいります。

本年も昨年同様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。